의타	工業高等	<u> 再門学校</u>	開講年度	平成29年度 (2	017年度)	授業科目	総合英語	∄Ⅲ B		
科目基礎	 楚情報									
科目番号		0345			科目区分	一般 / ,	 込修			
授業形態				単位の種別と単			履修単位: 1			
開設学科					対象学年 3					
開設期後期					週時間数	2				
教科書/教材 Time Zones 3, Departure, I				English Expressio						
担当教員			ッドタケ							
到達目標	 =	•								
1) To dev 2) To un	velop acac derstand a	lemic literad and discuss sh skills use	cy skills global and modern eful for academic su	topics ccess						
ルーブリ	ー ノック									
			理想的な到達レベ	いの目安	標準的な到達レベ	いいの目安	未到達し	ベルの目安		
評価項目1	1		Students are ab	Students are able to understand sand reuse all the expressions		Students are able to understand and reuse most of the expressions learned in class.		Students are not able to understand and reuse any of the expressions learned in class		
評価項目2	2			and reflects upon international   analyze		ents are somewhat able to ze and reflects upon		Students are not able to analyzand reflects upon international issues.		
評価項目3	3		Students succes the skills useful success	ne skills useful for academic skills useful for		r academic skills		Students did not acquire the skills useful for academic success		
学科の登	到達目標工	頁目との関	係							
函館高専	教育目標 E					· ·		· ·		
教育方法	去等									
概要		meaning some in	ehensive English B, we will continue building up on what was done in the previous semester. Using ul and authentic content, students will become active speakers and listeners. They will discover resting topics that are essential tools to understand the world we live in. Students will improve their cation skills in English thanks to constant interaction and stimulation.							
授業の進む	め方・方法	1.Even 2.You m 3.Stude	if you feel shy, plea nust always bring th nts cannot use thei ree to come to my o dents study well in o	se try and speak te textbook and a c cellphones in cla	as much as poss an electronic or p	ible. aper dictiona	ry.	want.		
注意点										
授業計画	画									
	週 担		授業内容				週ごとの到達目標			
	3rdQ	1週	授業の説明 General Review		E	・授業の進め方が理解できる。 Be able to remember what was done in the previous semester				
		2週	Unit 10 part A		5	To be able to understand to talk about recent scientific discoveries.				
		3週	Unit 10 Part B			To be able to talk and write about dinosaurs				
		4週	Unit 11			To understand the concept of marketing and create a marketing campaign			ng and	
		5週	Unit 12 part A			Being able to review tenses				
			Unit 12 part B						d roading	
		6週	Offic 12 part B		ä	Writing about personal statements and reading about space inventions			u reauling	
後期		7週	Test Review			Be able to rev	view for the	tost and und	lorstand it	
						Se able to rev	TOT THE	test and and	ici staria it	
		8週	中間試験			Be able to brainstorm about lang				
	4thQ	9週	Departure II, part 3. Lesson 1			be able to bra organize thou	iinstorm abo ahts into a r	m about languages and nto a paragraph.		
		10週	Departure II, part	3. Lesson 2				pinions and defend them.		
		11週	Departure II, part	3. Lesson 3 devi		devices in ger				
		12週	Departure II, part 4. Lesson 1		f	ront of classr				
		13週	Departure II, part 4. Lesson 2			experience in	le to give a speech about your own ience in front of classmates able to review for the test and understand			
		14週	Test review				ntent			
		15週	年末試験		its sometic					
		<u> </u>	試験解答返却		-	To be able to understand where students made				
		16週	試験聨合返却			mistakes				
	774''				<u> </u>	nistakes				
	コアカリニ	キュラムの	  学習内容と到達		•	nistakes			I I SAW S	
モデル <u>-</u> 分類	コアカリョ		   学習内容と到達    学習内容   学	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週	
	1 *	ュ キュラムの 分野	学習内容と到達度 学習内容 等 英語運用の き	学習内容の到達目標 英語のつづりと音と	•	₹ <b>る</b> 。		到達レベル 2 2	授業週	

リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。       2         語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。       2         文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読する。       2         文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。       2         中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。       2         自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。       2         中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。       2         高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。       2         日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。       2	
ができる。	
ことができる。	
中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。 自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。  中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。 高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで2	
程度の語彙を新たに習得する。  自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。  中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。  高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を 2  日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで 2	
中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	
高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を 習得する。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっき りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで 2	
習得する。 2 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっき りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで 2	
日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 現を用いて英語で話すことができる。	
説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。	
平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。	
英語運用能 力の基礎固 大語運用能 大語運用能 大語運用能 大語運用能 大語運用能 大語運用能 大記を表現し、 大記を表現を表記を表現し、 大記を表現を表現を表記を表現し、 大記を表現を表記を表現し、 大記を表記を表現し、 大記を表現を表記を表現し、 大記を表記を表現を表記を表現し、 大記を表記を表現を表記を表記を表現を表記を表記を表現を表記を表記を表現を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を	
め 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 a で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	
毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把 握できる。	
自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことが できる。	
毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を 把握できる。	
自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 200語程度の簡単な文章を書くことができる。	
評価割合	
試験 小テスト 相互評価 態度 E-learning レポート 合計	
総合評価割合 60 0 0 0 20 20 100	
基礎的能力 60 0 0 0 20 20 100	
専門的能力 0 0 0 0 0 0	
分野横断的能力     0     0     0     0     0     0	